

節分を祝う 行事の祈りを受け継ぐ

校長 Sr.大山 江理子



節分を経て、立春を迎えました。暦の上では春になります。校庭では白梅が咲き始め、寒さの中にも春の兆しがみつけられます。

初等科でも1月のうちでしたが、31日には節分の豆をお弁当のときに配りました。ご家庭でも節分の行事を何かなさったでしょうか。昨今では、恵方巻きが節分の日の特的な食べ物として登場します。今年の方角を心がけて食べましたというご家庭もあるかもしれません。

日本の文化の中には、季節の移り変わりと共に祝う行事があります。節分を越えると立春を迎え、3月には桃の節句、5月には端午の節句、それぞれに飾る花やしきたりがあり、季節と共に子どもの成長を願って、いのちの恵みを祈ります。行事を祝うことは楽しいことです。その日の特別なお菓子や食べ物も楽しみです。しかし、それを祝う心がけは？と考えてみるとどうでしょうか。もし、その日だけの楽しみであったなら・・・？

12年生の宗教の授業や母親宗教講座の皆様と、日本人として色々な行事を祝うこと、そしてその意味について考えてみる機会がありました。宗教的に厳密に考えてみれば、キリスト教に基づく学校で、お寺や神社で行われる節分会と同じことを学校でもしているとしたら、曖昧さや矛盾を示すものなのかもしれませんが、日本人としては自然に受け入れて、むしろ伝統を重んじることは望ましいとさえ考えることもできます。しかし、意味を受け継いでいるかと問われると、戸惑ってしまいそうです。

節分の豆は、農業に携わる人びとは、それが1年に一回だけ収穫できる実りであることを知っています。恵方巻きの多彩な具材も、海の幸、畑の実りが集められたものとして見れば、何人もの人の手を経て、食卓に届けられていることを思い起こすことができます。今はスマート農業や技術や機械の力を得ての産業ですが、長く人間は自然の大きな力の元で、養われている、あるいは対峙しているという思いで、祈りながら生活してきたのではないのでしょうか。その祈りの伝統を受け継いでいるのでしょうか。その祈りの先には、イエスが共にいてくださるのでしょうか。

都会に住んでいて、様々なものが簡単に手に入る今、子どもたちと共に、「祈る」ということに改めて心を向けたいと感じます。節分や節句の行事に、いのちの恵みを祈る心を生き生きとさせたいものです。より一層楽しさが深いものとなるに違いありません。



12年生主催の2年生理科文化祭



ドンチェバさんにお会いして
(1年生廊下にて)

2月の行事予定

1日(土)	学習発表会	19日(水)	5年みこころ発表会(3～6限)
3日(月)	学習発表会代休日	20日(木)	6年卒業研究発表会
6日(木)	私学半日研修(1～3限授業)	21日(金)	6年卒業研究発表会
7日(金)	4年まとめのテスト	23日(日)	天皇誕生日
	2年保護者会	24日(月)	振替休日
11日(火)	建国記念の日	25日(火)	4年保護者会
12日(水)	3年保護者会	26日(水)	5年いじめ対策講演会(6限)
	下校グループ集会		5年保護者会
17日(月)	1年保護者会	27日(木)	感謝のミサ(4限)
18日(火)	6年カトリック音楽会		

※3月3日(月) ハイチデー

「発表」を通して学ぶ

教頭 吉岡 真左美

2月は、学習発表会から始まりました。学習発表会では、1～4年生は生活科の授業やみこころの時間に学習したり、追究したことを中心に発表します。「学芸会」ではなく、「学習発表会」という名称にしているのはこの理由からです。

発表の機会は、とても有意義なものと考えます。なぜなら、発表に向けて、伝える相手を意識しながらどのように表現するとより効果的になるかを考えることになるからです。発表会はまさに、思考力と表現力を磨く絶好のチャンスです。

学習発表会では、「舞台を使って発表する」方法と「展示をして発表する」方法の両方が経験できるように、隔年で発表形式を設定しています。“舞台の年”である今年は、担任の先生方がベースになる台本を作り、演出を考え、舞台監督も行いながら児童の気づきやアイディアを盛り込んでいきます。試行錯誤しながら作り上げていく過程は、私たち教員にとって時間との戦いですが、作り上げた達成感を子どもたちと共有できることは、大きな喜びとなります。

子どもたちにとって、声や体を使って舞台上で発表することは緊張感も伴いますが、そこを乗り越え、表現する楽しさが味わえるようになります。先日、登校時に私の前を歩いていた低学年の児童が、「私、学習発表会の練習大好き！もっと練習があればいいのになあ～」と友だちに話しているのが聞こえ、思わず顔がほころびました。5年生の英語劇や6年生の音楽についても、発表会に向けて自分の担当箇所を一所懸命に練習し、同じ場面や同じ楽器の人と協力しながら学年で1つの大きな作品に仕上げていくことは、大きな達成感になっていきます。学校ならではの教育活動と言えます。

「発表」という活動は、見て聞いていただくことで、より深まっていきます。学習発表会で大勢の保護者の方々にご覧いただいたことは、子どもたちが確かな手応えを得て、次の学習につながる大きなモチベーションになります。ご来場いただきありがとうございます。

これから5、6年生の研究発表会が続きます。引き続き温かい励ましをいただければ、とても嬉しく存じます。



3年



4年



1年



2年



5年



6年